

## 楽天グループサステナブル調達インストラクション

楽天グループは、バリューチェーン全体を通して持続可能な社会の実現を目指しています。事業活動を行うにあたり使用する物品やシステム、サービス、およびエンドユーザーの皆様を提供する商品・サービスのサプライチェーンにおいてサステナビリティを推進するにあたり、重要な役割を担っているのがサプライヤーの皆様です。

「楽天グループサステナブル調達インストラクション」は、楽天グループとサプライヤー様が、サステナビリティに関して共通の認識をもち、協力して取り組んでいくことが不可欠であるとの考えに基づき制定され、楽天グループと、楽天グループのサプライヤー様が相互に協力しながら実現を目指す、持続可能な調達のあり方を示しています。

楽天グループはもちろんのこと、楽天グループのサプライヤー様におかれましても、本インストラクションのご理解と実践をいただき、楽天グループと皆様が相互に協力しながら共に持続可能なサプライチェーンを実現できるよう努めていただきますようお願い致します。

### ■ 適用範囲

本インストラクションは、楽天グループ及び楽天グループのサプライヤー様（以下「私たち」）に適用されます。調達取引を行うにあたり、楽天グループによる遵守はもとより、サプライヤー様におかれましても、遵守をお願いします。

### ■ サプライヤーの定義

サプライヤーとは、楽天グループに対しサービスや物品を提供する企業、事業者、ビジネスパートナー、エージェント、仲介業者、業務委託先、ディストリビューター、その他か第三者を指します。

### ■ 調達活動の定義

商品・サービスをエンドユーザーに供給可能な状態にするため、および事業活動を行うために必要な、有形物（原材料・素材・部品・デバイス・印刷物）、無形物（デジタルコンテンツ・ソフトウェア・システム）、サービス（派遣社員などの人材・コンサルティング・開発）の仕入れや委託行為を指します。

## ■ 倫理的な事業活動

楽天グループは、「グローバルイノベーションカンパニー」として高い倫理意識をもって事業活動を行っています。

私たちは、各国の関係法令および社会規範を遵守し、お互いに高い倫理観を持ち事業活動・調達取引を行います。

### □ 法令遵守

私たちは、事業活動・調達活動を行うにあたり、適用される各国の法令や条例、規則を遵守します。

### □ 公正・適正な取引

私たちは、職務遂行にあたり、特定の個人・第三者の利益を優先することなく、公正・適正な取引を行います。私たちは、利益相反取引をはじめ、特定の個人・第三者に利益を与える可能性のある取引は適切な手続きを踏むとともに、関係者の利益を害する不公正・不適正な取引を行うことのないよう努めます。

### □ 汚職・贈収賄

私たちは、いかなる形であれ贈収賄を容認しません。直接的に、または第三者を通じて間接的に行われるかを問わず、贈収賄、ファシリテーションペイメント、キックバック、不適切な接待贈答、違法な政治献金、寄付、協賛等に問わず、一切の汚職行為を行いません。

### □ 知的財産権

私たちは、自社の知的財産を適切に利用し、他者の知的財産権を侵害しません。技術やアイデア、ノウハウ、デザインなどの利用は知的財産権が守られた形で行うことを徹底します。

## ■ 情報セキュリティ・プライバシー

インターネットを通して幅広いサービスを提供する企業として、楽天グループは情報セキュリティ・プライバシー保護を経営上の最重要課題の一つに位置付けています。楽天グループの情報資産(パーソナルデータを含む)を扱う業務を第三者に委託する際は、第三者において楽天グループが求めるセキュリティ基準に従い適切にデータの保護を講じる環境が整っていることを確認するため、必ず事前に所定のセキュリティチェックを実施し、適切な契約を締結します。

サプライヤーの皆様におかれましては、楽天グループの情報資産(パーソナルデータを含む)を取り扱う際は、楽天グループが求めるセキュリティ基準に従い適切にデータの保護を講じる環境が整っていることを確認するため、必ず事前に当社のセキュリティチェックを受け、適切な契約を締結した上で、契約に準じた取り扱いを実施してください。

## ■ 製品・サービスの安全と品質

楽天グループは創業以来、お客様に質の高いサービスを常に提供できるよう努めています。

私たちは、設計・開発・生産の全ての段階で適用する各国法令の遵守を徹底し、安全性と品質の高い製品・サービスづくりを徹底します。

## ■ 環境の保護

楽天グループは、事業活動による環境への負の影響を軽減することはもちろん、より環境に優しいサービスをお客様に提供できるよう努めています。

私たちは、事業活動・調達活動において、環境に関連する法令等の遵守はもとより、環境汚染の防止、環境負荷の低減に向けた取り組みを通じて環境保全に最大限配慮します。

## □ 気候変動

私たちは、低炭素社会の実現を目指し、エネルギー使用量と温室効果ガス排出量の測定・開示・削減、エネルギー効率の改善、クリーンエネルギーの利用、気候リスクの管理や適応ビジネスの推進など、気候変動の緩和策・適応策を実施します。

## □ 資源管理

私たちは、包装資材の利用、配送など、事業のバリューチェーン全体において、木材、化石燃料、水を含む自然資源の利用、廃棄物の発生、あらゆる種類の汚染物質の排出などの環境負荷の測定、開示、低減を通じ、資源の有効利用と3R（リデュース・リユース・リサイクル）、および廃棄物の適正処理に努めます。

## □ 生物多様性

私たちは、生物多様性保全に関する国内外の法令への遵守はもとより、生態系に配慮し、生物多様性へ与える有害な影響の低減に努めます。

## ■ 人権の尊重

楽天グループは、ステークホルダーの皆様の人権を尊重し、明るい未来の実現を目指しています。

私たちは、人権に配慮し、適切な労働環境のもと事業活動、調達活動を行います。

## □ 人権に関する国際規範の尊重

人権は、出生、背景、そのほかの如何なるステータスに関わらず、すべての人類が持つ基本的で普遍的な権利です。私たちは、「世界人権宣言」、「市民的及び政治的権利に関する国際規約」、「経済的、社会的、文化的権利に関する国際規約」、および「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」等、人権に関する国際規範を支持し、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。

## □ 児童労働の禁止

私たちは、児童労働を使用しません。児童労働とは、16歳未満または適用する最低法定年齢のいずれか高いほうの年齢の児童から子ども時代を奪い、普通教育を妨げ、精神的・肉体的・社会的・道徳的に有害な労働を通じた搾取を指します。

## □ 強制労働の禁止

私たちは、監禁・拘束・奴隷労働・超過勤務の強制、人身売買等の如何なる手段によっても強制労働を行いません。

#### □ 機会均等・無差別

私たちは、雇用、昇進、賃金、報酬、研修の機会などにおいて、人種・国籍・性別・婚姻歴・子女の有無・宗教や政治思想・年齢・障がいの有無・性的指向・性自認などいかなる要因によっても差別を行いません。

#### □ 労働時間・賃金

私たちは、国内外で適用される労働時間および賃金に関するすべての法令および労働基準を遵守し、時間外労働の削減に努めるとともに、基本的なニーズを満たす適切な賃金水準を確保します。

#### □ 健康と安全

私たちは、健康で安全、かつ衛生的な職場環境を労働者に提供します。潜在的な危険に対して対策を取り、労働者へのリスクを低減させます。

#### □ 虐待およびハラスメントの禁止

私たちは、異性及び同性間での性に関する身体・肉体・言語等によるハラスメントや虐待、および役職・立場・労働者の区分などを利用した身体・肉体・言語などによるハラスメントや虐待を行いません。また、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントも行いません。

#### ■ 紛争鉱物の不使用

私たちは、人権・環境等の問題を引き起こす原因となりうる紛争鉱物の使用を回避します。責任ある鉱物調達を実現するために、相互に協力し合い、懸念がある鉱物の使用が認められた場合は、不使用に向けた取り組みを実施します

#### ■ 地域コミュニティへの貢献

楽天グループは、「イノベーションを通じて人々と社会をエンパワーメントする」というミッションに基づき、楽天グループのアセットを活用し、ステークホルダーとともに地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。私たちは、社会課題の解決やその地域コミュニティの発展へ積極的に取り組みます。

## ■ マネジメントシステムの構築

本インストラクションの実践に向けて、私たちは、以下の項目を含んだマネジメントシステムを構築します。

- コミットメント、または方針の制定
- 目標及び実施計画の策定
- 目標達成に向けたアクションの実施（例：労働者への周知、研修等）
- マネジメントシステムの運用に関する記録文書の作成と保管、および必要に応じてステークホルダーへの情報開示（楽天グループ、顧客、お取引先様等）

## ■ 相談窓口

楽天グループでは、法令や本インストラクションに違反する恐れのある行為について、サプライヤーの皆様が報告または相談できる窓口を設置し、報告内容に適切に対処する体制を整備しています。[こちら](#)のフォームからお問い合わせください。

なお、楽天グループの社員が、調達活動において法令や本インストラクションに違反する行為、あるいは違反する恐れのある行為を発見した場合は、楽天ホットラインへお問い合わせください。